

# しんかんきょう

公益社団法人神奈川県環境保全協議会

2018. 1  
第 141 号



「新春の鶴岡八幡宮」 Photo in Kamakura City Kanagawa Prefecture by Yasuo Cho

- 会員事業所が知事表彰を受賞しました！
- 新技術紹介平成29年度かながわ「産業Navi大賞」受賞商品の紹介
- 特集「生物多様性の保全に向けて」  
～横浜ゴム(株)平塚製造所における生物多様性活動について～  
・・・など満載！

# 会報 しんかんきょう も く じ

平成30年 1 月 No.141

|     |                                       |    |
|-----|---------------------------------------|----|
| 1   | 年頭のごあいさつ .....                        | 1  |
|     | 公益社団法人 神奈川県環境保全協議会 会長 高橋 徹            |    |
| 2   | 会員事業所が知事表彰を受賞しました .....               | 2  |
|     | 協議会事務局                                |    |
| 3   | 法令・行政の動向                              |    |
| (1) | 環境に配慮した自動車利用について .....                | 4  |
|     | 神奈川県環境農政局環境部大気水質課                     |    |
| (2) | 水銀廃棄物の処理に関して排出事業者が講ずべき新たな措置について ..... | 6  |
|     | 神奈川県環境農政局環境部資源循環推進課                   |    |
| (3) | マイクロプラスチックって何? .....                  | 8  |
|     | —— 相模湾沿岸でマイクロプラスチックの実態調査を開始 ——        |    |
|     | 神奈川県環境科学センター調査研究部                     |    |
| (4) | 水源環境保全・再生の取組について .....                | 10 |
|     | —— 第3期水源環境保全・再生実行5か年計画 ——             |    |
|     | 神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課                   |    |
| 4   | 特集 「生物多様性の保全に向けて」 .....               | 12 |
|     | —— 横浜ゴム株式会社 平塚製造所における生物多様性活動について ——   |    |
|     | 横浜ゴム株式会社 平塚製造所                        |    |
| 5   | 新技術紹介                                 |    |
| ③⑧  | 平成29年度かながわ「産業Navi大賞」受賞商品の紹介 .....     | 14 |
|     | 一般財団法人 神奈川県経営者福祉振興財団                  |    |
| 6   | 平成29年度 合同地区研修会に参加して .....             | 16 |
|     | 株式会社岡村製作所追浜事業所 小尾 康雄                  |    |
| 7   | 会員事業所訪問 .....                         | 17 |
| ③⑩  | 東京スリーブ株式会社                            |    |
|     | 協議会事務局 山崎 美紀                          |    |
| 8   | 協議会の活動状況 .....                        | 18 |
|     | 協議会事務局                                |    |
| 9   | わがお国自慢・事務局だより .....                   | 20 |





# 年頭のごあいさつ



公益社団法人 神奈川県環境保全協議会

会長 **高 橋 徹**

(日産自動車(株) 理事)  
追浜工場 工場長

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成30年の新春を迎え謹んでお喜び申し上げます。

昨年は、会員企業の皆様や県をはじめとする関係行政機関の皆様からご丁寧なご指導、ご鞭撻を賜り、公益社団法人としての目的達成のための事業を着実に進めることができました。ここに、心より厚くお礼申しあげます。

私どもの協議会は、昭和53年の設立で、これまで、40年もの長きにわたり、時々の環境課題の解決に向けて、様々な事業に取り組んでまいりました。

現在、私どもの協議会には、県内外の企業や個人の方など、約300会員が加入しています。

会員企業の中には、関係業界を代表する大手企業やその関連企業、最新鋭の技術を導入して業界をリードしている企業、その取り組みや功績が特に優れていると行政機関から高い評価を受けている企業など、業種や業態は様々ですが、それぞれが、高い技術や実績を持つ企業が数多く会員として加入しています。

私ども協議会では、こうした会員企業の優れた技術や取り組みの内容を共有していただくことで、環境保全技術の向上のみならず、円滑な企業運営のお手伝いできればと考え、技術研修会の開催や会報誌などを用いた情報提供などに努めているところです。

昨今、環境問題も多様化し、こうした環境課題を解決するための法令整備も粛々と進められ、そうした中で、私ども企業に求められる役割、責任も一層重いものになっています。

こうした背景を受けて、私ども協議会では、今後も、公益社団法人として、時代とともに変遷を続ける環境課題を的確に捉えて、その解決に向けて、質の高い研修事業に取り組むなど、会員企業の皆様に満足していただけるサービスを提供していくことが、皆様から求められる私どもの役割と考えています。

結びになりますが、当協議会の円滑な組織運営のため、本年におきましても、県をはじめとする関係行政機関の皆様や会員企業の皆様には、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願いして、新年のごあいさつとさせていただきます。

# 会員事業所が知事表彰を受賞しました

協議会事務局

平成29年度の神奈川県環境保全功労者表彰の候補として、日ごろの取組みが模範的な会員事業所3社を推薦したところ、皆さん揃って受賞されました。

11月22日（水）の表彰式には、高橋会長が来賓として出席、浅羽神奈川県副知事から表彰状が授与されました。このたびの受賞、誠に、おめでとうございます。

## 【東邦化学工業株式会社追浜工場】

昭和35年、追浜工場の操業を開始、界面活性剤をはじめとする多品種の化学製品製造に際して、化学物質管理を適切に進めるとともに排水処理設備や排ガス燃焼装置の充実・改善に努めるなど、環境保全のための積極的取組みが評価されました。

特に、化学物質管理では、有害性が低い物質への転換や代替品の開発に取り組むなどの化学物質削減対策を積極的に進めています。

また、近隣2町内会との間で、定例役員会を開催、2つの町内会にモニタリング者を置かせてもらい、操業に伴う問題点などの把握にも努めています。



## 【パナック工業株式会社足柄工場】

昭和23年に現所在地（南足柄市）の操業を開始、銀化合物のリサイクル技術、光学向け樹脂加工技術などを保有し、「廃棄される素材をバーゲンに戻す」という究極のリサイクルを目指した事業活動を展開しています。

特に、地元の南足柄市と「環境保全協定」や「公害防止協定」を締結して、地域の環境保全に配慮した操業に努めています。

操業に伴う環境負荷を的確に捉えて、排水管理の徹底や環境事故防止のためパトロール、従業員教育などにも積極的に取り組んでいます。



### 【日立オートモティブシステムズ株式会社相模事業所】

昭和36年に相模事業所の生産を開始、自動車部品及び輸送用並びに産業用機械器具・システムの開発、製造、販売などを手掛け、ACC（車間距離制御）システムの実用化に成功しています。

特に、都市ガスを利用したガスエンジンコージェネレーションシステムの導入により、窒素酸化物、硫黄酸化物の排出ゼロを達成、また、化学物質対策では、VOC排出抑制のため、塗料ノズルの改良、塗料のムダ吹き禁止、夏場のVOC揮発防止の啓発活動などによる塗料の使用量削減にも積極的に取り組んでいます。



左から、①高橋会長、②日立オートモティブシステムズ(株)相模事業所 事業所長 無藤様  
③東邦化学工業(株)管理部 部長 金井様、④パナック工業(株) 取締役社長 中村様  
⑤神奈川県副知事 浅羽様

## 環境に配慮した自動車利用について

神奈川県環境農政局環境部大気水質課

### 1 はじめに

事業活動を効率的に営む上で、自動車は大きな役割を果たしています。

エンジンで燃料を燃やして走る自動車は、大気汚染物質や温室効果ガスを排気ガスとして大気中に排出してしまいます。

事業活動を継続しながら、次の世代に良好な大気環境を引き継いでいくためには、自動車利用時の環境負荷をなるべく少なくしていく必要があります。そのための効果的な方法が「エコドライブ」や「低公害車の利用」です。

### 2 エコドライブ

#### (1) エコドライブのメリット

エコドライブには次のようなメリットがあります。

- ①燃費が良くなり、燃料代を節約できる。
- ②窒素酸化物（ $\text{NO}_x$ ）や粒子状物質（PM）などの大気汚染物質や二酸化炭素（ $\text{CO}_2$ ）などの温室効果ガスの排出量を減らすことができ、大気環境が改善される。
- ③余裕をもった運転で、交通事故の防止につながる。

《エコドライブの燃費改善効果》  
 ○燃費が10%程度向上（車の種類などによっても異なります）  
 ⇒ガソリン代も約10%節約

#### (2) エコドライブな運転操作

よく取組まれているエコドライブの方法を紹介します。

##### ①ふんわりアクセル「eスタート」

自動車は、発進させるときに最も多くの燃料を消費します。そのような時に急発進をすると、エンジンに高い負荷がかかり、より多くの燃料を消費してしまいます。発進するときには、アクセルを穏やかに踏み込んで、なめらかに加速するようにしましょう。最初の5秒間で時速20kmが目安です。それだけで、燃費が約10%向上します。

##### ②加減速の少ない運転

加速や減速を繰り返す運転は、一定の速度での運転に比べて、燃料の消費量が多くなります。加減速を少なくし、一定の速度で走れるように、前の車との車間距離にゆとりをもって走るようにしましょう。

##### ③早めのアクセルオフ

アクセルから足を離してエンジnbrakeを利かせると、エンジンへの燃料供給がカットされ、燃費が2%程度改善します。交通状況を見て停止する位置を予測し、早めにアクセルから足を離しましょう。下り坂でも、エンジnbrakeを活用しましょう。

#### (3) 運転操作以外エコドライブ

(2)では、運転操作の方法を紹介しましたが、それ以外にも簡単にできるエコドライブの方法がありますので、主なものを紹介します。



①不要な荷物を積まない

車が重くなると、走行時の抵抗が大きくなり、燃料消費が多くなります。例えば100kgの荷物を載せて走ると3%程度燃費が悪化します。キャンプ用品やゴルフ道具などは、必要なき以外は車から降ろしておきましょう。

②エアコン使用は適切に

エアコンを使用すると多くの燃料を消費します。例えば、車内の温度設定を外気と同じ25℃に設定した場合、エアコンをオンにしたままだと、12%程度燃費が悪化します。冷房が必要なときでも車内を冷やし過ぎないようにしましょう。また、暖房のみで除湿をしないときは、エアコンのスイッチをオフにしましょう。

### 3 低公害車の利用

(1) 低公害車とは

低公害車というと、次世代自動車と言われるような電気・燃料電池・天然ガス・ハイブリッド自動車を最初に思い浮かべる方が多いと思いますが、ガソリン車やディーゼル車の中にも、九都県市\*が独自の基準に基づき指定した低公害車があります。

※九都県市：首都圏の自治体（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）で構成する広域的課題に取り組むための組織

九都県市では、エンジンで燃料を燃やして走る自動車であっても、窒素酸化物などの排出量が少なく、かつ燃費もよい自動車は「九都県市指定低公害車」として指定し、これについても普及を推進しています。九都県市指定低公害車の具体的な車種については、ホームページ「九都県市あおぞらネットワーク」で検索することができます（URL：<http://www.9taiki.jp/>）。

(2) 神奈川県における低公害車の利用促進に関する取組

県では、生活環境の保全等に関する条例において、自動車を使用するすべての方が低公害車の使用・購入に努めることを求めています。

また、県と契約して業務を行う方に、低公害車を使用することを義務付けています。印刷、物品等の納品、廃棄物処理などに関する業務を県から受注し、その業務の遂行のために物品や廃棄物等を自動車で運搬する際には、低公害車を使用しなければなりません。県は、これらの業務の契約において、低公害車の使用を受注者の義務として定め、低公害車の利用を推進しています。

(3) 事業者の皆様へのお願い

事業活動において、人や物品の輸送を伴う際には、低公害車を利用するようにし、大気汚染物質や温室効果ガスの排出を抑制するようにお願いします。そうすることで、よりきれいな大気を将来の世代へ引き継いでいくことができるのです。

《道路を走らない油圧ショベルやブルドーザーでも低公害車を使いましょう》

油圧ショベルやブルドーザーなど、公道を走行しない特殊な構造の作業車にも、排気ガスの規制があります。

建設工事現場などでナンバープレートのない作業車を使う際には、原則として、排気ガスの基準に適合していることを示すステッカーの貼ってある作業車を使わなければなりません。

また、軽油を燃料とする作業車の燃料には、重油や灯油を使わないようにしてください（重油や重油を混ぜた燃料の使用は、県の条例で禁止されています）。点検整備も定期的 to 実施し、車の本来の性能が発揮されるようにしましょう。



# 水銀廃棄物の処理に関して排出事業者が講ずべき新たな措置について

## 神奈川県環境農政局環境部資源循環推進課

水銀廃棄物の処理について廃棄物処理法施行令等が改正され、廃水銀等に関する特別管理産業廃棄物としての指定、並びに収集運搬基準及び保管基準等については平成28年4月1日から、廃水銀等の処分基準のほか、普通産廃である水銀使用製品産業廃棄物及び水銀含有ばいじん等の処理基準等については平成29年10月1日から施行されています。

そこで、改正内容の施行に伴い水銀廃棄物の処理に関して排出事業者が講ずべき新たな措置についてお知らせします。

### 1 水銀廃棄物（産業廃棄物）の分類について

#### (1) 廃水銀等（特別管理産業廃棄物）

- ・ 特定の施設において生じた廃水銀及び廃水銀化合物
- ・ 水銀若しくはその化合物が含まれている物（一般廃棄物を除く。）又は水銀使用製品が産業廃棄物となったものから回収した廃水銀

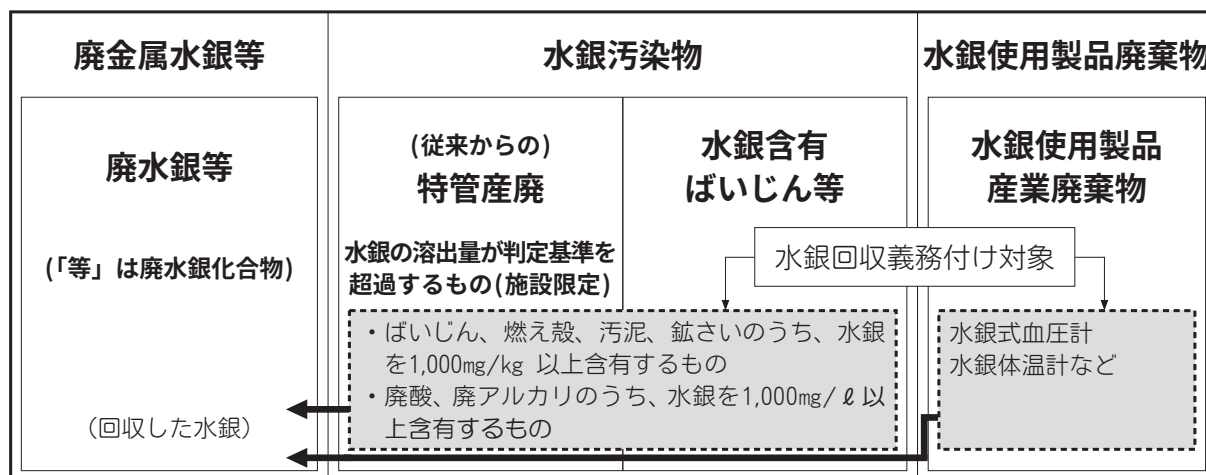
#### (2) 水銀含有ばいじん等（産業廃棄物）

水銀又はその化合物が含まれているばいじん、燃え殻、汚泥、廃酸、廃アルカリ又は鉱さいであって、水銀又はその化合物中の水銀をその重量の15mg/kg（廃酸、廃アルカリの場合は15mg/l）を超えて含有するもの

#### (3) 水銀使用製品産業廃棄物（産業廃棄物）

「① 施行規則別表第四に掲げる水銀使用製品※（単体）」「② ①を材料又は部品とする製品」又は「③ 本体に水銀等の使用に関する表示がある製品」が産業廃棄物となったもの

※ 対象となる水銀使用製品の詳細は「水銀廃棄物ガイドライン（環境省）」をご確認ください。  
環境省HP [http://www.env.go.jp/recycle/waste/mercury-disposal/h2906\\_guide1.pdf](http://www.env.go.jp/recycle/waste/mercury-disposal/h2906_guide1.pdf)



### ----- 水銀廃棄物の分類に関するQ&A -----

Q：産業廃棄物の種類は業種特定を含めて20種類あるが、今回「水銀含有」に関するものが新たに追加されるという認識でよいのか。

A：今回の改正は、産業廃棄物の種類を追加したものではありません。



## 2 水銀廃棄物の処理について排出事業者が注意すべきこと

通常の（特別管理）産業廃棄物の措置に加えて、以下の新たな措置が必要となりました。

### (1) 保管

- ・ **水銀使用製品産業廃棄物** **水銀含有ばいじん等**  
保管施設にそれらが含まれていることを掲示しているか  
（例）廃プラスチック類（水銀使用製品産業廃棄物を含む。）
- ・ **水銀使用製品産業廃棄物**  
保管する場合には、他の廃棄物と混合するおそれがないように仕切りを設ける、専用の容器に入れるなどの措置を講じているか
- ・ **廃水銀等**  
飛散・流出・揮発防止、高温にさらされないための措置及び腐食防止措置を講じているか

### (2) 処理の委託

#### ア 処理業者の選定

- ・ 委託する水銀廃棄物の収集運搬又は処分の許可を受けた事業者であるか※  
※ 処理業者の事業内容は、許可証の内容の他、直接処理業者に問い合わせるなどにより確認してください。
- ・ 水銀の回収義務※のある水銀廃棄物の中間処理を委託する場合、水銀を適切に回収できる業者か  
※ 水銀体温計など一部の水銀使用製品が産業廃棄物となった物や、水銀を1,000mg/kg（L）以上含有するばいじん等について、中間処理業者に水銀回収義務が追加されました。（前ページ図参照）

#### イ 委託契約の締結

- 水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれることについて契約書に明記※し、廃棄物データシート（WDS）の添付などにより性状等を明らかにしているか
- ※ 平成29年10月1日時点で現に締結している契約書は更新時に（自動更新の場合は覚書等により）対応

#### ウ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付

- 水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等は、産業廃棄物の種類の欄にそれらが含まれる旨と数量を記載しているか  
（例）水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯） 数量：20 本

## 3 最後に

県では、改正についてのチラシを作成・配付し、説明会等により周知を図るとともに、立入検査等を実施し、適正処理の確認を行います。

事業者及び処理業者の皆様は、引き続き水銀廃棄物の適正処理の確保にご協力をお願いします。

### 【参考情報】

- ・ パンフレット「産業廃棄物の適正処理のために」（県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市）  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f94/>
- ・ 環境省が提供するリーフレット、ガイドライン、Q&A  
<http://www.env.go.jp/recycle/waste/mercury-disposal/>

# マイクロプラスチックって何？

## －相模湾沿岸でマイクロプラスチックの実態調査を開始－

神奈川県環境科学センター調査研究部

### 1 マイクロプラスチックとは

皆さんは、「マイクロプラスチック」という言葉を聞いたことがあるだろうか。2年ほど前から世界的に話題となり、最近ではしばしば新聞の科学欄にも特集記事が掲載されている。マイクロプラスチック（以下「MP」という。）とは・・・サイズが5mm以下のプラスチックである。小さなプラスチックごみではあるのだが、これがひとたび海に流れ出ると、生態系に大きな問題を引き起こしかねないことが分かってきた。

海洋中に微細なプラスチックが漂流していることが最初に指摘されたのは、1970年代といわれている。その証拠を探してみたところ、1972年に書かれた報告<sup>1)</sup>に行き着いた。ニューイングランド沿岸でプラスチック小球体が多数浮遊しているというもので、この小球体にPCBが付着していること、魚がこれを摂食していることが書かれていた。米国海洋大気庁でMPの定義が議論されたのが2008年なので、当時はまだその概念すら存在しなかったのだが、既に生態系への影響も指摘されていた。しかし、この報告が大きな注目を集めることはなかったようである。限られた地域の問題であり、広域的な環境問題とは捉えられなかったものと思われる。

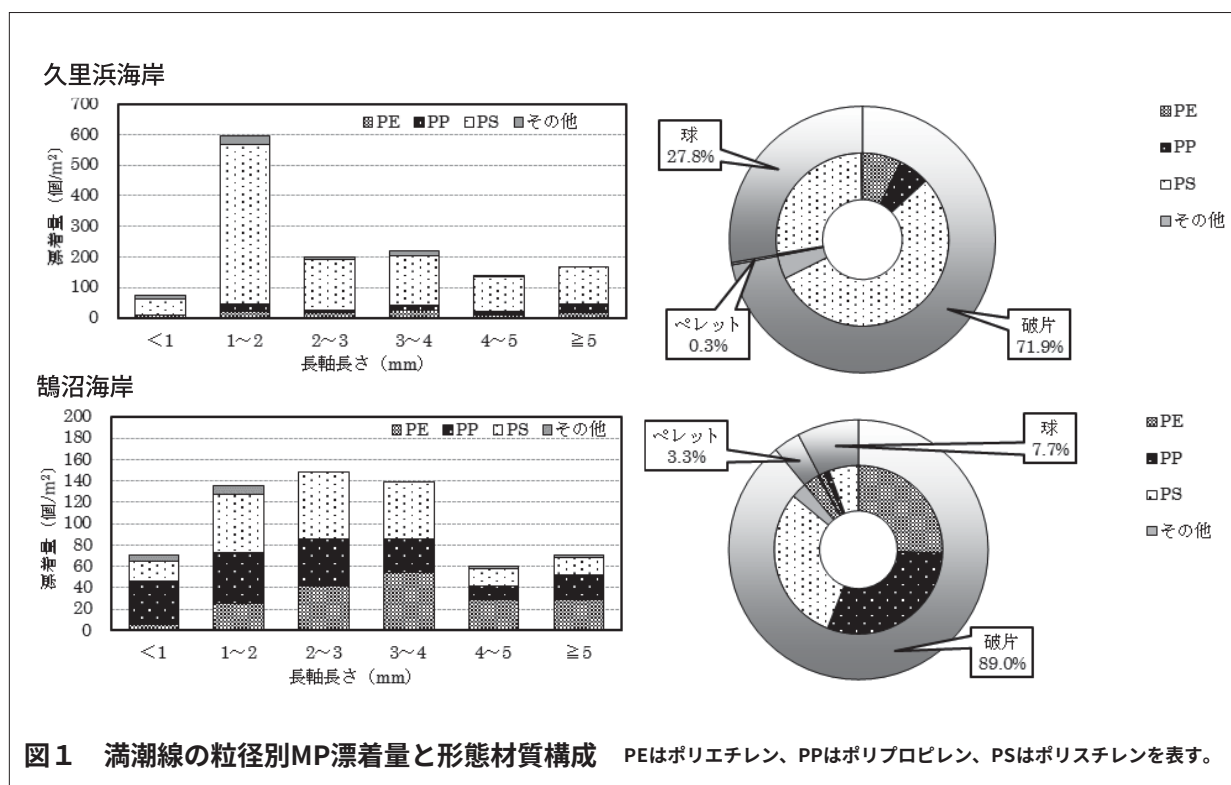
MPが世界的に注目されるまでには、2001年まで待つことになる。樹脂ペレットが海水のおよそ百万倍に化学物質を濃縮、吸着し、排出源のない遠隔地の離島にまで運ばれ、化学物質汚染を広げる性質を持つこと<sup>2)</sup>が明らかになったのである。これ以後、MPの調査研究が世界の様々な研究機関で進められるようになり、わが国でも2015年に環境省が海洋中の漂流MPの調査結果を公表したのを皮切りに、国内の状況が徐々に調べられるようになってきた。

### 2 実態調査の取組状況

環境省のMP調査は、日本近海の漂流MPをプランクトンネットでトロールして採取する方法で行われる。外洋からくるMPを調べるには、この方法で調査するのが国際的にも一般的である。一方、環境省の調査は沿岸部の状況把握は必ずしも十分に行われているわけではない。相模湾は、観光や沿岸漁業の場として本県にとって重要な海域である。そこで、近海の状況把握は国が、相模湾沿岸部については地元である県が細かく調べるという考えのもと、今年度から調査研究に着手した。

MPの研究では、海洋生態系への影響を把握することが重要なので、ターゲットは湾内に漂流するMPである。しかし、漂流MPの調査は費用も労力もかかることから、まずは沿岸に漂着するMPから調べていくこととした。海岸に漂着するMPは、沿岸の海中の分布状態を反映していると推察されることから、漂着MPは湾内の漂流MPの状態を推定する手がかりになると考えたわけである。また、漂着MPを調べる重要な意味がもう一つある。海岸は、MP生産の場になっている、と考えられるからである。これには、沿岸トラッピングと呼ばれる沿岸部の輸送過程が大きく関係している。沿岸に浮遊するサイズの比較的大きなプラスチックは海岸に漂着し、潮汐と波の作用で容易に海中に戻るが、この輸送過程は海岸上でプラスチックがMPに細粒化するまで繰り返され、サイズが数mmの破片に破碎されると、この輸送過程から開放されてMPが沖合いに広がる<sup>3)</sup>、というものである。つまり、湾内に漂流する細かいMPの供給源は海岸であり、漂着MPを調べることは湾内MPの分布状況を知る上で不可欠の情報であると考えている。

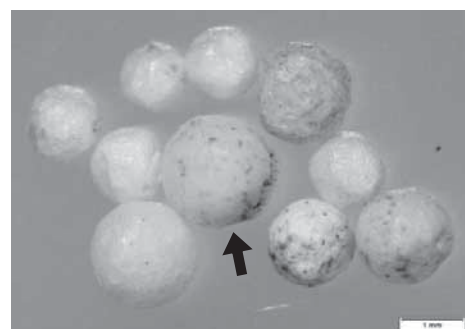
現在、相模湾の海岸4地点と比較のため東京湾側1地点のMP漂着量を調べているところである。現時点でデータがまとまっているのは、鵜沼海岸（藤沢市）と久里浜海岸（横須賀市）である。沿



岸トラッピングが作用する満潮線上の調査結果を紹介する (図1)。

両海岸の状況を比べると、MPの総数は、鵜沼の630個/m²に対し久里浜は1,400個/m²で2倍以上多かった。久里浜では1~2mmのサイズのMPが飛び抜けて多く、全体の82%がポリスチレンであったのに対し、鵜沼ではそれより大きなものの比率が高く、材質も多様であるという違いが見られた。MPは外洋から運ばれてくるもの、というイメージが強く、当初は海岸による漂着状況の差は小さいと考えていたが、それとは異なる結果が得られた。その原因は、外洋のMPより、もっとローカルな排出源の影響を受けているためではないか、と考えている。すなわち、河川を通じて内陸から運ばれてくるMPの違いがこの差を生んでいると考えている。鵜沼では、比較的きれいなペレットが多数見つかった。発生源は特定できていないが、日ごろの事業活動において環境への流出を防ぐ対策にご協力いただきたい。

もう一つ特徴的なことは、久里浜では全体の28%の形態が球であったことである。その写真を図2に示した。冒頭で紹介したニューイングランドの小球体はポリスチレンであったが、奇しくも久里浜の小球体もほとんどがこれと同じポリスチレンであった。MP問題の端緒となったポリスチレン球が45年の時を隔てて久里浜でも見つかったことの意味を考えつつ、今後も調査を続けていきたい。



**図2 久里浜海岸で採取したMP球**  
右下のスケールは1mm、矢印を付した球の材質はPP、それ以外はPS。

## 参考文献

- 1) Carpenter et. al., Science, 178, 749-750, 1972
- 2) Mato et al., Environ. Sci. Technol., 35, 318-324, 2001
- 3) Isobe et al., Mar. Pollut. Bull., 89, 324-330, 2014



# 水源環境保全・再生の取組について

## －第3期水源環境保全・再生実行5か年計画－

### 神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課

県では、平成19年度以降20年間にわたる水源環境保全・再生の取組全体を示す「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」に基づき策定した第1期と第2期の「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」により、個人県民税の超過課税（水源環境保全税）を財源に、森林や河川の保全・再生など12の特別な対策に取り組んできました。

第2期計画までの取組では、私有林の荒廃の進行など施策導入時に危惧されていた課題に重点的・集中的に取り組む、概ね順調に進捗し、成果を上げています。

一方で、施策導入時には予見されていなかった新たな課題も発生しています。

こうしたこれまでの取組の成果と課題を踏まえて、平成28年11月に「第3期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」を策定し、平成29年4月からこの計画に基づく取組を開始しました。

## 1 第2期計画までの取組の成果

### ＜森林の保全・再生＞

間伐や枝打ちなどの森林整備と同時に、シカの管理捕獲を実施することにより、シカの生息密度が低減した地域では、下草の生長が見られ、土壤保全が図られています。

### ＜河川の保全・再生＞

河川・水路の自然浄化や水循環の機能を高めるため、生態系に配慮した河川・水路等の整備を実施し、本来の川らしさの創出を図りました。

### ＜水源環境への負荷軽減＞

ダム集水域における生活排水処理率は、施策開始以前は、他の地域に比べて低水準にとどまっていたましたが、公共下水道整備及び合併処理浄化槽整備の促進に重点的に取り組んできたことにより、大幅に向上しました。

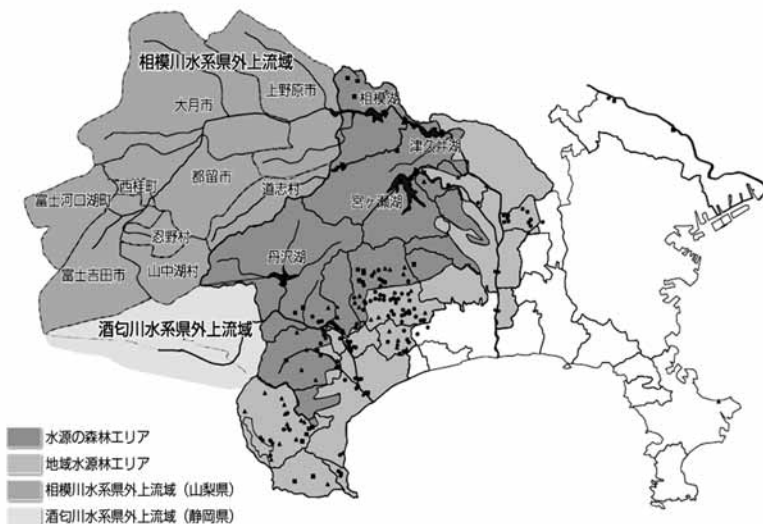
## 2 第3期計画の考え方

第3期計画では、第2期計画までの取組は基本的に継続してさらなる進捗を図るとともに、新たに判明した課題に対しては、水源環境の保全・再生に確実な効果が見込める事業により対応をしていきます。

また、より効果的に進めるため12の特別対策事業を11の特別対策事業に組み換えました。

### ＜第3期計画の基本事項＞

- (1)目的 良質な水を安定的に確保する
- (2)期間 H29～H33年度（5年間）
- (3)対象事業  
主として、水源かん養や水質の改善などに直接的な効果が見込まれる取組
- (4)対象地域  
主として、県内水源保全地域及び相模川水系県外上流域



### 3 新たな課題と第3期計画の対応

#### ＜水源林の土壤保全対策の強化＞

県西地域を中心に、スコリアと呼ばれる富士山の火山噴出物が堆積した脆弱な地層の崩壊による森林土壌の流出や、集中豪雨などによる土砂災害の激化、頻発化が懸念されています。

こうしたことを踏まえ、自然石やコンクリートなどを使用した土木的工法も取り入れ、森林の土壤保全対策を強化します。

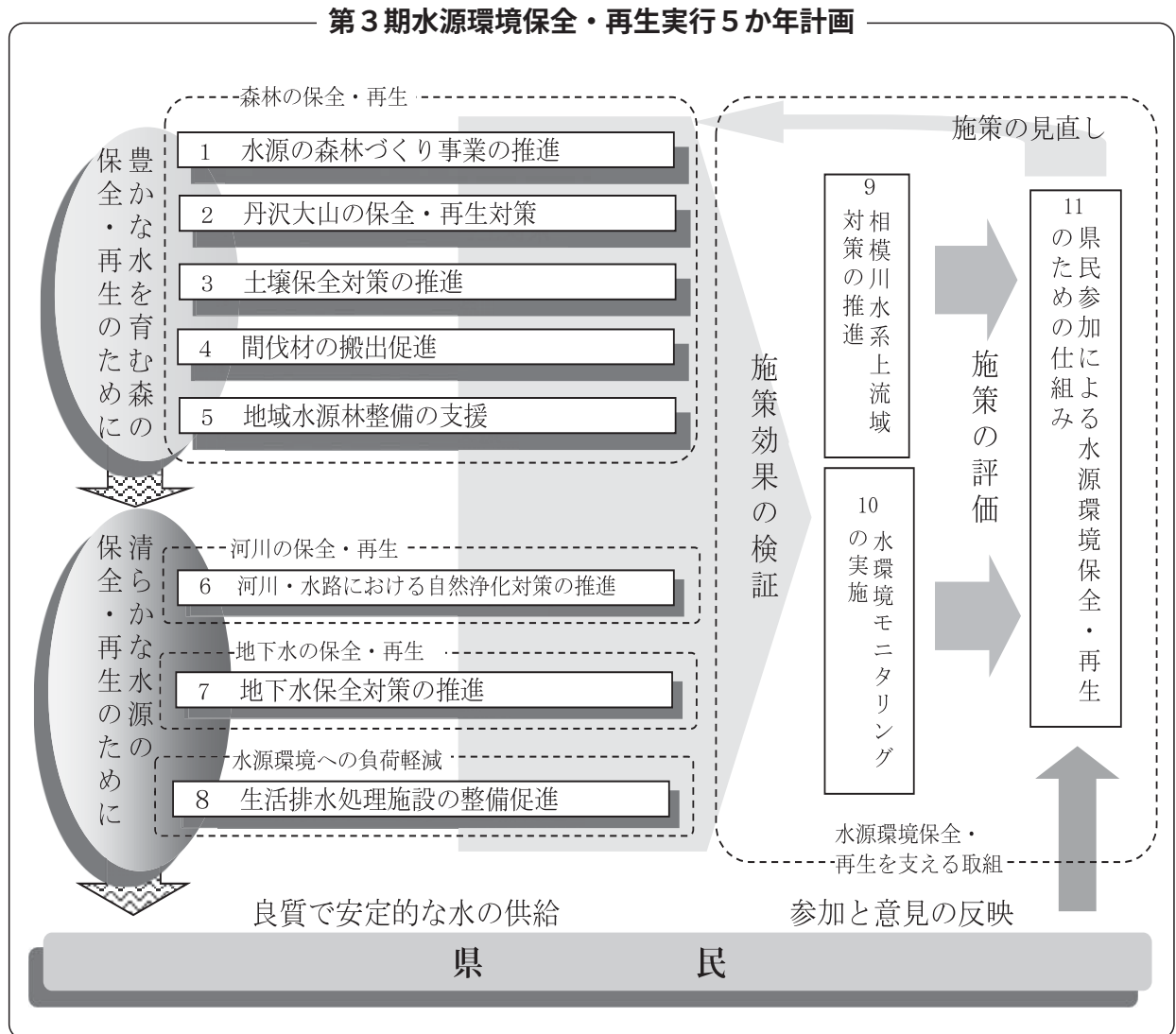
#### ＜シカ管理捕獲の対象地域拡大＞

シカの影響が見られなかった箱根山地や小仏山地でも、近年、シカの生息密度が上昇し、シカの採食による林床植生の衰退が懸念されています。

そこで、丹沢大山地域で効果を上げてきた森林整備とシカ管理捕獲を相互に連携させた取組を、箱根山地、小仏山地まで拡大し、シカの定着防止を推進します。

#### ＜水源環境への負荷軽減に向けた支援の拡充＞

ダム下流域における生活排水が水源河川に流入し、水質に影響を与えている現状があることから、合併処理浄化槽整備の対象地域を相模川水系・酒匂川水系取水堰の県内集水域に広げるなど、支援を拡充します。





## 横浜ゴム株式会社 平塚製造所における生物多様性活動について

横浜ゴム株式会社 平塚製造所

### なぜ「生物多様性」に取り組むのか？

当社は天然ゴムをはじめとする自然資本（自然の恵み）に依存し事業を営んでいます。工場では各種生産装置を冷却するために大量の水を利用し、熱・二酸化炭素を放出しており、事業活動によって生じる自然環境への負荷が、地球規模で進んでいる生物多様性の喪失と無関係ではないと認識しています。私たちの責務は、自然の恵みを与えてくれる多様な生命のつながり（＝生物多様性）の保全と持続可能な自然資本を利用し未来の世代に伝えていくことであると考えています。

### 生物多様性ガイドライン （2010.7.28公表）

#### 基本方針

私たちは、自然が生み出す恵みに依存して事業を営んでいます。この恵みを支える「多様な生命のつながり＝生物多様性」が、地球規模で急速に失われていることを認識し、事業活動を通じて生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用に取り組むことで、豊かな自然を未来の世代につなぎます。

#### 行動指針

1. 経営課題としての認識
2. 社員の全員参加
3. 生物多様性への影響の把握と低減
4. サプライチェーンを通じた生物多様性保全
5. 生物資源の持続可能な利用
6. 情報の共有とコミュニケーション



### 目指す姿

事業活動が自然環境や生態系に与える影響を評価し、その影響がより良いものになるように保全活動を行っています。この活動を通して、自然と共生し環境マインドを持った従業員を育成することを目指しています。

### 目指す姿に向けた施策

事業活動が影響を及ぼす可能性のある河川などで水質の調査や出現生物のモニタリングを行い、評価対象生物を設定します。年間を通してモニタリングを継続することで事業活動の影響を評価し、保全活動後に結果を公表しています。

水質調査としては水温・電気伝導度・pHなど、生物のモニタリング



植生調査の様子



としては野鳥観察、植生調査、水生生物や昆虫の観察を行っています。

## YOKOHAMA千年の杜（植樹活動）

2007年に「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトがスタートしました。2017年までに国内外の生産拠点および関連部門の敷地内に50万本の苗木を植えることを目標に取り組み、本年9月にその目標を達成しています。

平塚製造所では2007年11月以降これまでに約3万本の植樹を行いました。森の成長と環境の変化を評価するために、成長量の調査（樹高、胸高直径の測定）と工場敷地内に出現する野鳥の調査を行っています。成長量の調査から千年の杜における二酸化炭素固定量を算出しています。その値は一般的な広葉樹林よりも多いことが分かっています。これは、多種類の樹種を混植・密植することの効果であると考えています。

野鳥調査では、これまでに同所敷地内で55種類の野鳥が観察されています。アオサギ、オナガといった留鳥の他にも、センダイムシクイといった渡り鳥なども観察され、渡り鳥が生息域を移動する途中で寄る中継地点としても千年の杜が機能していると考えられます。

## 生物多様性パネルディスカッションの開催

同所では毎年環境がテーマのイベント「Think Eco ひらつか」を開催しています。その中で生物多様性に関して地域の皆さまと意見や情報を交換する「生物多様性パネルディスカッション」を行っています。第3回目となる2016年のパネルディスカッションでは「平塚の水辺のために何ができるか～水でつながる山・里・川～」をテーマに従業員、地域住民、環境活動団体等をはじめ多くの方にご参加いただき、同所の生物多様性に関する成果報告と今後の活動指針の共有化が図られました。

## 生物多様性活動（モニタリング、保全活動、その他）について

同所における生物多様性活動は、金目川の下流域と中流域で行っています。金目川ではセッカ、カワセミ、オオヨシキリ、モズなどの鳥類、ニホンウナギ、シマヨシノボリ、ボウズハゼなど回遊性の魚類が見られたことから河川と海とが健全な状態でつながっていることが確認できました。一方、植生調査ではオオブタクサやアレチウリなどの外来種が多く見られたことから、保全活動として特定の外来種の駆除を行いました。昨年までに累計で約230名の従業員が参加し、約1.6トンの外来種を除去しています。

毎年3月には地域の環境活動団体の呼びかけに賛同し、地域の自治体や団体とともに河川清掃を行っています。

また、2015年には平塚市土屋地区の休耕地をお借りして谷戸田に手づくりのビオトープを創設するなど里山を再生する活動を、2017年には同所敷地内に手作りのトンボ池を設置し、この池に集まるトンボやチョウ、カエルなどを観察して生き物のつながりを身近に感じられる活動を開始しました。



外来植生の駆除

## 今後の取り組み

モニタリング活動や保全活動への参加により、従業員の生物多様性保全に対する理解を深めていくとともに、地域の皆さまへの情報発信を積極的に行うことで同所の取り組みを理解していただけるよう活動していきます。

## 平成29年度かながわ「産業Navi大賞」受賞商品の紹介



### 土と水の役割を果たす新フィルムを用いた高品質農産物生産システム ～ フィルム農法（アイメック®）～

メビオール 株式会社（平塚市）

#### ■ 概要

医療分野で開発された膜、ハイドロゲル技術を駆使して、土が不要で、水のロスがなく、且つ高品質の作物を生産できる農業システム（アイメック®）を世界に先駆けて開発した。アイメックは、土耕栽培の難しい土作りや水やり技術が不要で素人でも農業ができ、また大量の養液を循環・交換する水耕栽培と比べてコストが安く、現在150以上の農場（総面積は約10万坪）で高栄養価トマト（フルーツトマト）生産に採用されている。フルーツトマトは最も人気の高い野菜であるが、生産が難しく、従来は高価でマイナーな食材であった。しかし、アイメックを採用した生産者が極めて栄養価の高いフルーツトマトを安定的に生産し始め、今までになかった高収益農業ビジネスが生まれつつある。さらにアイメックでは不毛の地でも高品質の作物が栽培でき、1）大津波被災地の陸前高田（6,000坪）、2）土壤汚染が危惧される中国上海近郊（16,500坪）、3）ドバイの砂漠（1,200坪）などでアイメックトマトが生産されている。ドバイのアイメックトマトは甘さ、収穫量共に日本のアイメックトマトを上回った。砂漠は晴天率・光量ともに優れ、砂漠がアイメックによって好適な食糧生産基地に変わることが実証できた。

#### ■ 今後の展望

アイメックは、農業ができない不毛の地を蘇生させることによって難民、テロ問題の解決の糸口になるものと考えている。2015年に国連にて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で取り組むべきゴール（Sustainable Development Goals; SDGs）の実現に向けて努力する所存です。





## ウレタン樹脂を使用した小規模断面トンネル維持・補修工法

アップコン 株式会社 (川崎市)

### ■ 概要

高度成長期に整備された農業用水路は一斉に老朽化しており、対応が求められている。

政府は日本のインフラ長寿命化計画を掲げているが、アップコン(株)は、国民的資産である農業用水路トンネルや導水路トンネルといった小規模断面トンネルに特化した補修工法を開発。この工法は、トンネルの天端背面に発生した空洞にウレタン樹脂を注入して崩壊を防ぎ、トンネルの長寿命化に貢献するもので、多くの特長がある。

当工法は日本で初めて独立電源を補修工事のプラント駆動用電源として採用。トンネルへの仮設電源の引き込みを不要にし、これまで対応が出来なかった長延長のトンネル深部に対応するだけでなく、短工期とコストを抑えた工法として注目されている。

農業用水路トンネルに特化した工法技術を確立したことで、既存工法では対応出来なかった多くの課題を解決した。

### ■ 工法の特長

- 日本初、100Vで充電可能なバッテリーを採用した独立電源をプラントの駆動電源に採用。

- 可動しながら、空洞が発生している部分のみピンポイントの工事を可能にした。

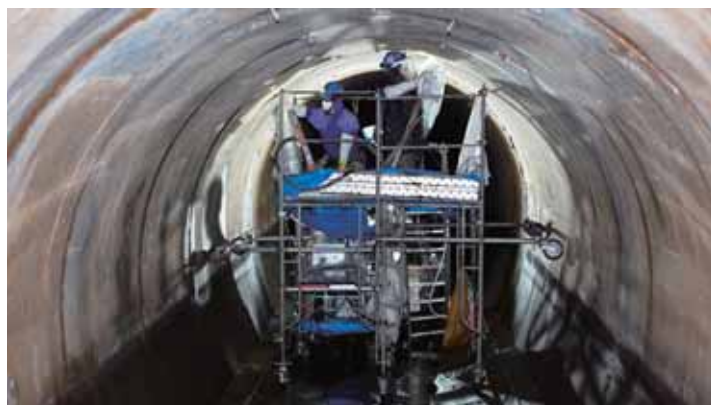
施工に使用するポンプ・コンプレッサー・注入機などの電源に、充電式バッテリーを採用したことで、長延長のトンネル坑内に点在する空洞でも容易に充填を可能とした。

- 長延長のトンネルでも施工を可能にした。

これまで引き込み電線の距離に影響を受け、坑口に近い部分しか対応できなかったが、長いトンネルでも移動しながら施工を可能にした。

- 厳しい条件下でもトンネル工事の対応を可能に。

従来のセメント材料系の補修工法と比較した場合、施工体制が非常にコンパクト。狭小地や、進入口が縦坑しかない現場でも工事を可能にした。



<トンネル補修工事写真>

かながわ「産業Navi大賞」は、がんばる中小企業を応援する（一財）神奈川県経営者福祉振興財団が2010年に創設した表彰制度であり、大賞と優秀賞、ほかに奨励賞、特別賞があります。

詳しくは、産業Navi大賞ホームページ (<http://www.navida.ne.jp/sangyo/kanagawa/>) をご覧ください。

問合せ先：[大 賞] メビオール株式会社  
[優秀賞] アップコン株式会社

電話 0463-37-4301  
電話 044-820-8120



## 平成29年度 合同地区研修会に参加して

株式会社岡村製作所追浜事業所 小 尾 康 雄

ジップロックから取り出した塩麴に漬込んだゆでたまごを肴に、土産の紅葉の絵柄のラベルが付いた『秋上がり』を飲んでいきます。すっきりした喉越しの一杯に、ゆでたまごが実に合います。でもこれは、見学した老舗酒蔵の十三代目当主の受売りで、そのまま言われた通りに作ったおつまみですけど… このおいしい酒と肴を堪能しながら、合同地区研修会の日を振り返ることにします。

今回の集合場所は、海老名駅近く。午前7時40分過ぎに参加者25名と事務局・旅行会社スタッフを乗せた観光バスは、視察工場へ向けて出発。バスの中では、事務局から工程の案内や参加者がマイクを回しながらの簡単な自己紹介です。



見学先は、セメント事業カンパニーである三菱マテリアル㈱横瀬工場様です。内陸部にある大きな工場で、秩父の自然との調和をモットーに環境保全活動にも積極的に取り組まれている工場様で、見学できることがとても楽しみです。

工場では、工場長を務める水間様からご挨拶をいただき、工場及び製品の概要の説明を受け、工場を見学しました。池袋から特急電車で約1時間30分くらい。操業が昭和44年に始まり、従業員数は101名、敷地面積が20万㎡あり、緑地率が31.4%。

国内におけるセメント需給の推移では、90年度に8,630万トンでピークを迎え、96年度に国内生産は1億トンのピークであり、バブル崩壊以降減少傾向が続いているそうです。しかし世界の需要はアジア

におけるインフラの急ピッチな整備等により、拡大しているとのこと。セメントの製造工程では、原料となる石灰石、粘土、けい石、鉄原料などを所定の化学成分となるようミキシングをし、この粉体原料を巨大な2基のロータリーキルン等を使って1,450℃で焼成し、半製品であるクリンカーを製造。出来上がったクリンカーと石膏を調合し粉碎して、粉末状のセメントとなります。その生産能力は、年間150万トンに及ぶそうです。その原料の石灰石は、工場の後方に広がる武甲山（上写真）で採掘され、ベルトコンベアを用いて供給されてきます。またセメントの主要成分（Ca, Al, Si, Fe）を含む物質は、廃棄物・副産物を代替物として利用。このことにより、火力発電等による石灰石の最終処分場の残余容量を3年以上引き延ばす貢献となっています。また、熱エネルギー代替物としての廃棄物の受け入れもあり、セメント1トン当たり517kgの廃棄物を使用。このような廃棄物処理では、高温で無害かつ大量に処理できることや、灰など二次廃棄物が発生しないことが特徴で、廃棄物を一生懸命に製造工程に取込んでいることに、先進的な環境保全活動を垣間見ました。



段々に削り取られた山肌を露呈している武甲山、そして構内の巨大な各種サイロやプレヒーターの勇姿に圧倒されます。試験室では、チューブ配管で搬送されてくる原料・製品試料を自動で素早く分析する設備に目を見張ります。また絶えず製造工程等を監視している中央操作室も少人数で、まるでコックピットのようなようです。ゆったり回転する巨大な2基のロータリーキルンを間近にして、耐熱タイルで覆われているが、熱さが伝わってくるような大迫力です。武甲山で白く見えるが、採掘跡の切立った岩壁に緑を取り戻すため、房桜を植えて、長い年月をかけながら育てている話を聞き、環境を大切に、石灰石を採掘して山をなくすのではなく、残していく姿に感銘を受けました。



帰路では、平成の名水百選『武甲山伏流水』を有する武甲酒造㈱様の酒蔵を見学しました。今年の酒仕込を控えて、酒蔵は静寂に包まれていました。お話上手な13代目当主の案内で、それぞれの酒造り工程、またお酒の蘊蓄に耳を傾けました。見学した後、今味わい深いお酒を試飲させていただき、その中の淡いピンク色した『桃萌』が印象的でした。当主おすすめのこの時期に瓶詰された『秋上がり』を家用の土産としました。

今、空になったグラスに土産の酒を注ぎ、この度の貴重な研修会を企画していただいた神奈川県環境保全協議会の塩谷様、山崎様に感謝。そして、ご一緒させていただいた会員の皆様のご活躍に乾杯！



## 会員事業所訪問③〇 お元気ですか？



今回は鎌倉市の事業所です！

## 東京スリーブ株式会社

協議会事務局 山崎 美紀

工場外観



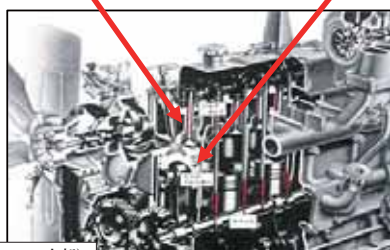
東京スリーブ(株)は鎌倉市の中央北部に位置し、昭和36年から現在地で営業開始しています。当協議会には平成5年3月にご入会いただきました。敷地は戦時中 旧富士飛行機工場（練習機製造）の敷地だったそうで、上写真の建屋は当時のまま現在も使用されています。正面玄関の階段のスロープや窓枠などは昭和初期の建物独特の雰囲気を感じることが出来ます。

当工場では、多種材質の特殊鋳鉄部品を、素材から加工完成まで一貫生産しています。主に下写真のようにバルブガイドと呼ばれる大型車両エンジン内部の特殊合金鋳鉄、またアルミニウム合金のピストン用耐摩環などを製造しています。高温、摩擦に曝される部品のため、素材の溶解温度調整が大変重要なのだとのお話がありました。合金の素材には、リユースされた銅なども使用されるとのことで、純度の高い銅の入手に大変苦労されたこともあったそうです。ほか、自動車の排気系部品などに使われるレニジスト鋳鉄など、私たちの目には触れない動力部の重要部品として多数利用されています。燃費向上や車体の軽量化など、今後ますます高強度、軽量化

バルブガイド（大型・中型・小型）



ピストン用耐摩環（リングトレーガー）



利用例（エンジン内部）

のための高精度部品が求められるのだと思いました。検査工程では、自動検査装置もある中、検査員の目視が未だに不可欠とのご説明があり、経験者のスキルの重要性をあらためて認識しました。

環境活動としては、ISO14001を2002年に取得、2017年7月に2015年版規格の移行審査を終え、新規格での運用をスタートされたところです。工場は準工業地域に位置していますが、住宅に近接する環境にあります。そのため、騒音関係での公害や苦情防止策として、コンベアなどの騒音発生施設の保守管理の徹底、構内のフォークリフト稼働に伴う音源への配慮、また夜間作業標準の遵守など従業員教育の徹底にも努力され、周辺住民から騒音苦情ゼロをこれまでも達成しています。廃棄物対策としては、切削工程からの廃油（水溶性切削油）はドラム缶（200L）約3～4本／月を回収し、委託処理。

また、切粉については2t／月を再生利用していますが、油付着の切粉を再生利用できないか現在検討しているとお話でした。鋳造工程（上写真）で使用される砂はこぼれ防止対策につとめ、再利用するなど対応。専用バキュームで定期回収をしているものの、なかなか徹底しきれていないのが課題とのことでした。省エネ対策としては、エネルギー消費の大きな溶解炉の電力量削減のため、これまでの実績値を維持するよう目標値を設定したり、一般電力では前年量に対し2%の削減を目標に掲げ、施設管理を行っており、炉の冷却には市水を循環利用しています。工程上、煤などで汚れることも多いため、作業員には入浴がかかせず、風呂用ボイラーの灯油も同様に効率的な使用で使用量の徹底をし、成果が出ているとお話でした。

地域活動としては、近隣住民とのコミュニケーションを密にするため、町内会行事へ参加したり、夏季期間中には地域を訪問して、操業中の苦情確認を行うこと、併せて従業員が自ら確認するなど、周辺環境に配慮した操業を心掛けています。住宅地に密接している事業所だからこそ、対応の細やかさが大切なのだとあらためて考えさせられる訪問となりました。

－掲載内容についてのお問合せ先－

東京スリーブ株式会社

総務部長 鎌田 浩一

電話 (0467) 46-4110 (代)

\* 当社は平成29年度県横須賀三浦地域県政総合センター所長表彰を受賞されました。(140号 P5 紹介)

# 協議会の活動状況

## 1 会員の状況 平成29年12月31日現在

| 区 分     | 正 会 員 | 賛助会員 | 計   |
|---------|-------|------|-----|
| 前回までの計  | 284   | 22   | 306 |
| 新 入 会 員 | 0     | 1    | 1   |
| 退 会 会 員 | 1     | 0    | 1   |
| 計       | 283   | 23   | 306 |

### ○新入会員（平成29年7月1日～平成29年12月31日）1社

| No | 事業所名                   | 業務内容                  | 所在地    | 代表者名      | 電 話           |
|----|------------------------|-----------------------|--------|-----------|---------------|
| 1  | (株)DNPイメージングコム<br>狭山工場 | 印刷加工業、昇華型イン<br>クリボン製造 | 埼玉県狭山市 | 工場長 保坂 敏彦 | (04)2952-9761 |

### ○退会会員 1社（H29.12月末現在）

## 2 平成29年度 環境保全活動促進のための経営層セミナー （公害防止管理者等フォローアップ研修会前期）

日 時：平成29年8月30日(水) 14:00～16:00

会 場：万国橋会議センター

内 容：(1) 主催者あいさつ

(2) 公害防止組織による環境管理における統括  
管理者等の役割について

(3) 2015版ISO14001規格における経営層の役  
割等について

参加者：40名



## 3 平成29年度合同地区研修会（P16参照）

日 時：平成29年9月29日(金)

視察先：三菱マテリアル(株)横瀬工場

参加者：25名

## 4 平成29年度第1回企画教育委員会

日 時：平成29年11月1日(水) 15:00～18:00

会 場：(株)I.S.O横浜

内 容：(1) 平成29年度の教育事業実施結果について

(2) 平成30年度事業計画案について

(3) 第6回通常総会について

(4) その他

## 5 平成29年度第2回広報委員会・ホームページ部会

日 時：平成29年11月9日(木) 15:00～17:00

会 場：三菱ケミカル(株)CSセンター

内 容：(1) 会報“しんかんきょう141号”の発行につ  
いて

(2) 発行頻度等の見直しと今後の発行計画につ  
いて

(3) 環境法令改正情報提供事業の見直しにつ  
いて

## 6 女性担当者のための環境保全研修会

（平成29年度第1回）

日 時：平成29年11月17日(金) 14:00～17:00

会 場：(株)岡村製作所追浜事業所

受講者：16名

内 容：(1) はじめまして！

—(株)岡村製作所追浜事業所の概要、環境の取

組み及び施設見学についてー

- (2) 実務のいろは！  
ー環境法令・動向を知るためにはー
- (3) 質疑応答



## 7 平成29年度第1回総務委員会

日 時：平成29年11月29日(水) 13:00～13:45

会 場：花王(株)小田原事業場

- 内 容：(1) 役員の変更について
- (2) 平成29年度事業の進捗状況及び今後の予定等について
  - (3) 第6回定時総会及び記念講演の開催について
  - (4) 環境法令改正トレンド提供事業の見直しについて
  - (5) 平成30年度事業計画について
  - (6) 会員の入退会について
  - (7) 報告事項

## 8 平成29年度第1回臨時理事会

日 時：平成29年11月29日(水) 14:00～17:00

会 場：花王(株)小田原事業場

- 内 容：(1) 役員の変更について
- (2) 平成29年度事業の進捗状況及び今後の予定等について
  - (3) 第6回定時総会及び記念講演の開催について
  - (4) 環境法令改正トレンド提供事業の見直しについて
  - (5) 平成30年度事業計画について
  - (6) 会員の入退会について
  - (7) 報告事項

## 9 平成29年度公害防止管理者等フォローアップ研修会(後期)

日 時：平成29年12月13日(水) 9:30～16:00

会 場：万国橋会議センター

- 内 容：(1) 神奈川県の水質汚濁防止と土壌汚染対策
- (2) (株)荏原製作所藤沢事業所における公害防止活動について
  - (3) 騒音関係苦情の対応について
  - (4) 水銀廃棄物の適正処理について
  - (5) 日本PCB全量廃棄促進協会について

参加者：82名







## わがお国自慢 ～岡山県倉敷市編～



私が生まれ育った町である倉敷を紹介します。岡山県倉敷市は江戸時代に天領として物資の集まる場所として栄えました。そこは、年貢の集積地である倉敷地で物資を保管する蔵がある町でした。現在は、白壁のある町として代官所跡にできた倉敷紡績の工場の跡地のアイビススクエアや大原美術館のある美観地区が有名です。



このような旧倉敷地区以外にも倉敷には水島、玉島、児島などの地域があり、中国地方で3番目に大きな都市となっています。南にある水島は工業地帯として有名で、製鉄、石油精製（コンビナート）、化学、自動車などの工場があります。さらに南にある干拓地である児島は、木綿の栽培が盛んで、繊維の街として発展し、学生服やジーンズの生産を行っています。それ以外にも、漁港があり、干しだこが有名です。児島には、四国への玄関口で瀬戸大橋線の駅やインターがあります。瀬戸内海国立公園の名勝、鷲羽山

からは、瀬戸内海や瀬戸大橋の素晴らしい景色、水島と児島を結ぶ鷲羽山スカイラインからは、水島コンビナートの夜景が見られます。最後にグルメについて紹介します。岡山は晴れの国でおいしいくだものとして白桃、マスカットが有名ですが、祭り寿司、ままかりの他、お土産では、吉備団子、大手饅頭、むらすずめなどがあります。辛党の方には、地酒、地ビール、ワイン等も多数あります。



（記 住友重機械工業(株)横須賀製造所 本藤 和臣）

### ◆◆ 広報委員会 ◆◆

委員長 (株)日立製作所ICT事業統括本部  
副委員長 市光工業(株)伊勢原製造所  
委員 (株)さんこうどう  
委員 富士フイルム(株)神奈川工場  
委員 三菱ケミカル(株)平塚事業所

委員 (株)岡村製作所追浜事業所  
委員 ソニー(株)厚木テクノロジーセンター  
委員 (株)ニコン相模原製作所  
委員 JX金属(株)倉見工場  
委員 三菱ケミカルハイテクニカ(株)小田原テクノセンター

### ✉ 事務局だより ✉

会員の皆様には日頃から“しんかんきょう”をお読みいただきありがとうございます。2017年も夏の長雨、また各地で豪雨被害が続くなど自然災害が多い年となりました。

アメリカではトランプ政権が誕生、「米国第一主義」という言葉が広まったと思うと今度は、地球温暖化対策の国際的なルールであるパリ協定から離脱すると発表、世界各国に大きな波紋が広がりました。何かと不安の多い1年でしたが2018年が皆様にとって良い1年になるよう、心より願っております。また、引き続き“しんかんきょう”をご愛読くださいますようお願い申し上げます。

### 会報 しんかんきょう141号

発行年月日 平成30年1月  
発行人兼 公益社団法人神奈川県環境保全協議会  
編集責任者 会長 高橋 徹  
横浜市中区日本大通1  
(神奈川県環境農政局内)  
電話 (045) 210-8727  
E-mail: shinkankyoku@eagle.ocn.ne.jp  
ホームページ: <http://www.shinkankyoku.or.jp>  
編集協力 (株)さんこうどう(<http://www.sankodo.net>)  
製作・印刷 電話 (0466) 27-2511

# ～健康診断は、健康維持への第一歩～

会員企業の従業員とご家族の皆さまの健康づくりを  
健診70年の実績で、全力サポートいたします。

## 公益財団法人 神奈川県結核予防会

### 中央健康相談所

#### 企業健診

(一般健診、特殊健診等)

#### 協会けんぽ健診

〒232-0033 横浜市内南区中村町3-191-7  
TEL 045-251-2364(代)

#### 交通機関

- \* 京浜急行線「黄金町駅」から徒歩約15分
- \* 地下鉄「阪東橋駅」(1番・4番出口)から徒歩約10分
- \* 横浜駅からバス白妙町下車  
または桜木町駅からバス浦舟町下車  
いずれも徒歩約5分



### かながわクリニック

#### 人間ドック レディースドック

#### 婦人検診

#### 企業健診 (一般健診等)

#### 協会けんぽ健診

〒231-0004 横浜市中区元浜町4-32  
県民共済馬車道ビル  
TEL 045-201-8521(代)

#### 交通機関

- \* JR京浜東北線「関内駅」(北口)から徒歩約10分
- \* 地下鉄「関内駅」(4番出口)から徒歩約7分
- \* みなとみらい線「馬車道駅」(6番出口)から徒歩約2分



## お客様の目線に立ち、高品質のメンテナンス技術と 多角的で豊富な計測ノウハウで、環境負荷の軽減に 貢献したい

### 事業内容

- 環境計測機器、各種分析用計器の保守点検
- 環境計測機器、各種分析用計器の修繕・オーバーホール・校正試験
- 環境計測機器、各種分析用計器の販売・設置工事
- 工業用薬剤、高圧ガスの販売
- 工場排水・汚水処理施設点検
- 環境測定・調査

#### 主な設置施設

- ◎ 工場、事業所排水処理施設
- ◎ 工場、事業所ボイラー等排ガス処理施設、ゴミ焼却処理施設
- ◎ 上下水道処理施設、農業集落排水、大型合併浄化槽、し尿処理施設
- ◎ 環境大気常時監視測定局
- ◎ 河川、ダム、地下水観測井、水資源管理施設

#### 取扱い計測機器

##### 【環境計測機器】

(水質計測) pH計 COD計 全窒素全磷計など  
(製造管理分析) 導電率計、DO計など  
(環境大気、自動車排ガス)  
NOx計 光化学オキシダント PM2.5計など  
(排ガス分析) CO計 SO<sub>2</sub>計 HCl計など

##### 【工業用プラント計装、通信、記録装置】

流量計、レベル計、圧力計など

##### 【気象、防災、水文観測機器】

風向風速計 温度湿度計 雨量計 水位計など  
その他各種



pH計、DO計の保守点検



排ガス分析計のオーバーホール



水質分析計の校正試験



COD計の設置工事

環境計測機器、各種分析用・観測用機器のことなら



サガミ計測株式会社

〒252-0335 神奈川県相模原市南区下溝1892番地 1

TEL 042-778-3646(代表)

FAX 042-778-3347

ホームページ

<http://www.sagamikeisoku.co.jp/>

お気軽にお問合せください。





# がんばる中小企業を応援します!!

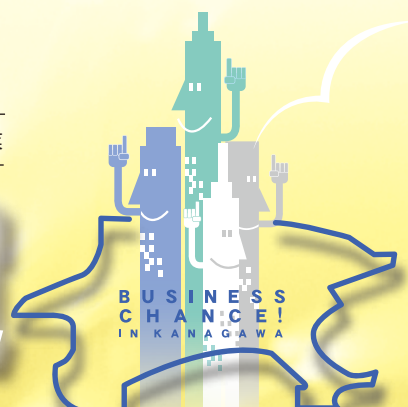
## キラリと輝く事業を表彰

かながわ

第9回

神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進月間 協賛事業

# 産業Navi大賞



**大賞 賞金100万円**

優秀賞 50万円

奨励賞 30万円

募集開始

平成 30 年

2月1日(木)~



第8回の表彰事業を

「テクニカルショウヨコハマ 2018」

“かながわ「産業Navi大賞」”ブースに出展します。

▶ 開催日：平成30年2月7日(水)~9日(金)

▶ 会場：パシフィコ横浜 展示ホール

本誌「新技術紹介」にて受賞事業(環境・エコ部門)を紹介しています。是非ご覧ください。

詳しくは《かながわ「産業Navi大賞」公式サイト》<http://www.navida.ne.jp/sangyo/kanagawa/>

3,000社が選んだ安心の実績

# 産業Navi

産業Naviのホームページなら  
安心・カンタン・低コストで運用できます!

検索に強く多くの人に見てもらえる

産業NaviホームページはYahoo!・Google等の  
キーワード検索で上位に表示されやすく  
たくさんのユーザーに見ていただくチャンスが  
広がります。

制作・修正は安心!カンタン!

専門スタッフによる安心の手厚いサポート  
が大好評! SEO相談にも親切に対応。

低コスト

月額  
わずか **3,000円!**

スマホ対応・修正料・SEO対策などすべて込み!



すでに自社ホームページをお持ちでも  
SEO対策として役立ちます!  
(自社ホームページへの誘導)

詳しくは

産業ナビ

検索

<http://www.navida.ne.jp/sangyo/>

福祉振興財団 ☎ 045-671-7125



かながわ中小企業パートナー

一般財団法人 神奈川県経営者福祉振興財団  
神奈川県福祉共済協同組合

かながわ中小企業パートナーは、「福祉振興財団」と「福祉共済協同組合」が、組織的な独自性を保ちながら相互支援により、県内中小事業者および地域社会の皆様へ高品質なサービス提供を目的に事業展開をいたします。